

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

203-675

事務事業名	学校プール改修事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課		包含する細々目	1	10	2	3	11	4	12,000
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	22 義務教育の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	11	年度～	年度							
						関連計画 条例等	学校教育法施行規則 小学校学習指導要領第2章第9節					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市内小学校のプール	プール施設がある小学校数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			19	19		
	小学校プール数(濾過機数)	小学校プール数(濾過機数)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			24	24		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	安全で快適なプール環境を整備する。	実施済小学校数 (全自動濾過装置設置校数)	18目標	7	最終目標	19
			18実績	7.5	19目標	9.5
		23目標	14	23実績		最終目標達成年度
		実施済小学校プール数 (全自動濾過装置設置プール数)	18目標	9	最終目標	24
18実績			11	19目標	13	
23目標		18	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	児童、生徒が安全で快適な教育環境で水泳の授業ができるように老朽化したプール施設を計画的に改修する。	丸山小学校の老朽化したプール施設改修。 プール循環濾過装置取替 1台 山本小学校の老朽化したプール施設改修。 プール循環濾過装置取替 1台	H18年度実施小学校数(校)	2
	18年度の実績			
	19年度計画	千代小学校の老朽化したプール施設改修。 プール循環濾過装置取替 1台 上久堅小学校の老朽化したプール施設改修。 プール循環濾過装置取替 1台	H19年度実施予定小学校数(校)	2

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	11,999	12,000
事業費計(A)	11,999	12,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 80	19年度 80
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	286	286
	トータルコストA+B	12,285	12,286

特定財源内訳や補足事項	なし
-------------	----

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	良好な教育環境のなかで児童、生徒(含外国籍児童、生徒)が生きる力(知育、德育、体育)をつけることができる。 児童、生徒(含外国籍児童、生徒)が生きる力(知育、德育、体育)をつける。	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合(%) 上段 小学校、下段 中学校	現状値	86.5	19実績	
			20実績	84.8	21実績	
			22実績		23目標	91
			22実績		23目標	90
		文部科学省基準を満たした学校の数(ムトス指標)	現状値	29	19実績	
		20実績		21実績		
		22実績		23目標	29	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
設置後20年以上経過し、プール施設の老朽化による漏水、腐食、水質の悪化が多発するようになったため、H11年度より開始した。	竜丘小学校は17年度当初予算化されなかったが、プールシーズン中に一時水質基準不適合になった。 千代小学校、丸山小学校、上久堅小学校で濾過機の故障により水泳の授業に支障をきたした。	学校からは操作の簡単な全自動濾過機の設置要望あり。 給排水の漏水、プール本体の塗装など修理修繕要望が多数あり。(管理費で随時対応している。) 濾過機の故障により水泳の授業に支障をきたした学校の保護者から早期修理の要望があった。

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>プールの老朽化が進行する中で、濾過機等の部分的改修に留まらないで、全面改修をして更に良好な環境整備を行うことで、より安全で快適な授業ができる。 財源及び期間を考慮した場合、現状維持が各学校平等で早期に効果が期待できる。</p> <p>予算化されるまでの老朽化したプール施設の維持管理及び安全対策。 プール薬剤を濾過機にやさしい無機質系薬剤を使用するなど設備の耐用年数を延ばす。 プールシーズン中に漏水、故障等による水泳授業に支障をきたす期間の短縮。</p>

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	